

研究・業績 発表リスト—2021年4月～2022年3月—

安藤直紀 教授

- (論文) Seeing the tree and the forest: Japanese auto firm multinational dispersion, cultural distance, and foreign manufacturing subsidiary ownership levels (with Powell, K.S. & Lim, E.), *Asian Business & Management*, 20 (2): 163-187, 2021年
- (論文) Human capital, cultural distance and staffing localization, *Multinational Business Review*, 29 (3): 420-439, 2021年
- (学会報告・論文) English proficiency of foreign subsidiary managers and work performance (with Suzuki, M. & Nishikawa, H.), Association of Japanese Business Studies Conference, 2021年6月

猪狩良介 准教授

- (論文(査読付・共著)) 文脈効果を考慮したコンジョイント分析による購買予測, 日本商業学会, 『流通研究』, 24(2), 17-32., 2021年12月
- (学会発表) 統計的データ融合を用いた不完全データに対する購買間隔モデル, 日本計算機統計学会第35回シンポジウム, 2021年11月27日
- (学会発表) 文脈効果を考慮したコンジョイント分析による購買予測, 第63回消費者行動研究コンファレンス, 2021年10月10日
- (学会発表) No 選択オプションを考慮したランキング型コンジョイント分析とモデリング, 第63回消費者行動研究コンファレンス, 2021年10月10日

池田宏一郎 教授

- (学会発表) ジェネリック構造の中の群, 日本数学会秋季総合分科会, 千葉大学 (オンライン開催), 2021年9月
- (講演) ジェネリック構造の中の群, モデル理論夏の学校2021, オンライン開催, 2021年9月
- (講演) Imaginaries in generic structures, RIMS 共同研究 (公開型) 「モデル理論における独立概念と次元の研究」, 京都大学数理解析研究所 (オンライン開催), 2021年12月
- (学会発表) ジェネリック構造における仮想元, 日本数学会年会, 埼玉大学 (オンライン開催), 2022年3月

石原紀子 教授

- (論文) 石原 & 関本. (2022). 多文化コミュニケーションの実践で培われる自己相対化能力: 日米大学のCOIL共修活動から, くろしお出版, 村田晶子 (編著) 『オンライン国際交流と協働学習』 [*Intercultural virtual exchange and collaborative learning*] (pp. 177-194), 2022年2月
- (著書) Ishihara, N. (2022). *Teaching and learning pragmatics: Where language and culture meet* (2nd ed.), Routledge, 2021年9月
- (論文) Ishihara, N., & Prado, M. C. A. (2021). *The negotiation of meaning in aviation English as a lingua franca: A corpus-informed discursive approach*, *Modern Language Journal* 105 (3), 639-654, 2021年9月
- (論文) Ishihara, N., & Lee, H. E. (2021). Face and (im)politeness in aviation English: The prag-

- matics of radiotelephony communications, *Journal of Pragmatics*, 180, 102-113, 2021年5月
 (論文) Ishihara, N., & Porcellato, A. M. (2022). Co-constructing non-essentialist pedagogy: Supporting teachers to support learners' translingual agency through L2 pragmatics instruction, Routledge, In T. McConachy & A. J. Liddicoat (Eds.), *Teaching and learning L2 pragmatics for intercultural understanding* (pp. 151-172), 2021年11月
 (招待講演) Ishihara, N. *Teaching L2 pragmatics explicitly: Considering implications of English as an international language*, Messaoud Zeghar Teacher Education College of Setif, Algeria でのオンライン招待講演, 2022年1月
 (招待講演) Ishihara, N. *Teaching pragmatics to support learners' identities and cultures: Understanding translingual pragmatics*, International Association for Teaching Pragmatics (ITAP) Fall Seminar 2021 でのオンライン招待講演, 2021年11月
 (招待講演) Ishihara, N. *Face and politeness in aeronautical English: How can pragmatics affect radiotelephony communications?*, GEIA (Grupo Estudos em Ingles Aeronautico [Aeronautical English Research Group]), Brazil でのオンライン招待基調講演, 2021年11月
 (招待講演) Ishihara, N. *Enhancing learners' intercultural awareness and linguistic politeness: Rethinking instruction for pragmatic translanguaging*, Japan Association for Language Teaching (JALT) West Tokyo でのオンライン招待講演, 2021年8月
 (学会発表) Ishihara, N. *Impoliteness in aviation English: Aggression in intercultural radiotelephony communications*, *International Pragmatics Association (IPrA), panel Impoliteness in Intercultural Encounters* でのオンライン学会発表, 2021年7月
 (学会発表) Wistner, B., Ishihara, N., & Murata, A. *The emergence of second language learners' intercultural competence through a COIL exchange*, Japan Association for Language Teaching (JALT) Study Abroad Pan-SIG Conference でのオンライン学会発表, 2021年5月

大木良子 教授

- (論文(共著)) Exclusive Content in Two-sided Markets(co-authored with Akifumi Ishihara), Harvard Business School, *Journal of Economics and Management Strategy* Volume 30, Issue 3, pp.638-654., 2021年8月

川島健司 教授

- (学会報告) 会計基準の展開と会計用語の使用法ー収益という用語をめぐる現状と課題, 日本簿記学会, 2021年度第37回全国大会 統一論題(報告・討議), 2021年8月29日・30日
 (論文) 財務報告におけるグラフの作成に関するガイドライン, 産業経理協会, 『産業経理』第81巻、第2号、pp.75-86, 2021年
 (書籍) 起業ストーリーで学ぶ会計, 中央経済社, 2021年

金容度 教授

- (著書) 日本の企業間取引ー市場性と組織性の歴史構造, 有斐閣, 2021年4月
 (論文) アメリカタイヤ産業史序説(3)ーREタイヤ市場における競争と取引の関連」2021年4月, 法政大学経営学会, 『経営志林』第58巻、第1号、pp.1-17, 2021年4月
 (論文) 日本経営史からみた稲盛和夫・京セラの研究の意義と課題, 稲盛和夫研究会, 『稲盛和夫研究』第1巻、pp.73-92, 2022年3月
 (シンポジウム報告) 日本経営史からみた稲盛和夫・京セラの研究の意義と課題, 稲盛和夫研究

- 会, 稲盛研究会第1回シンポジウム(オンライン), 2021年8月27日
(学会報告(英語)) Historical Comparison of Interfirm Relationships between Japan and U.S. in the Early Stage of Steel Industry: Case of Steel for Ships in Japan and Steel for Rails in U.S., European Business History Association、経営史学会, 2nd World Congress of Business History、Nagoya(online), September 10, 2021
(学会報告) 日本の企業間取引, 京都大学経済学部, 史的分析セミナー合評会(オンライン), 2022年1月28日

木村 純子 教授

- (著書) 『イタリアのテリトリー戦略: 甦る都市と農村の交流』, 白桃書房, 編著者, 2022年3月
(著書) 『持続可能な酪農: SDGs への貢献』, 中央法規, 編著者, 2022年3月
(著書) 「セッジャーノ・オリヴオイル PDO / アミアータ・テリトリー」, 同文館出版, 田中洋編著『ブランド戦略ケースブック 2.0』, 2021年11月
(講演録) 「法政大学イノベーション・マネジメント研究センターシンポジウム「テリトリーが実現する持続可能な地域づくり『イタリアのテリトリー戦略—甦る都市と農村の交流—』発刊記念(2022年1月30日開催)」講演録』, 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター, ワーキングペーパー, No.244, 2022年3月

倉田 俊彦 教授

- (学会発表) On formalization of logic puzzles a la George Boolos, 日本数学会, 日本数学会 2021年度秋季総合分科会(千葉大学), 2021年9月
(学会発表) Spectral Spaces for Models of Intuitionistic Logic, 京都大学数理解析研究所, 京都大学数理解析研究所 RIMS 研究集会「証明論と計算の理論と応用」, 2021年12月
(学会発表) A general form on the logic puzzle of Boolos, 京都大学数理解析研究所, 京都大学数理解析研究所 RIMS 研究集会「論理・代数系・言語と計算機科学の周辺領域」, 2022年2月
(学会発表) Spectral Spaces for Models of Intuitionistic Logic, 日本数学会, 日本数学会 2022年度年会(埼玉大学), 2022年3月

近能 善範 教授

- (論文) Yoshinori Konno and Ayako Takai (2021a) “Modularization as Disruptive Innovation”, 東京大学ものづくり経営研究センター, Annals of Business Administrative Science, Vol. 20 (6), pp. 239-251. doi: 10.7880/abas.0211104a, 2021年12月
(報告) Yoshinori Konno and Ayako Takai (2021b) “Modularization as Disruptive Innovation: An Analysis of the Japanese PC Market in the Early 1990s”, 東京大学ものづくり経営研究センター, The ABAS Conference 2021 Autumn (Zoomにて開催), 2021年9月

坂上 学 教授

- (論文) 会計DXの歩み, 中央経済社, 『企業会計』 Vol. 73 No. 4, pp. 16-30., 2021年4月
(論文) 会計領域における先端複合研究の動向, 森山書店, 『會計』 Vol. 201 No. 2, pp. 55-63., 2022年2月
(報告書) 情報関連技術の進展と財務会計に関する研究(中間報告), 日本会計研究学会・特別

委委員会，執筆担当箇所：第2章の2.1、2.2、2.5、2.7、2.9、2.10、第3章の3.1.3、第6章，2021年8月

(学会報告) 情報関連技術の進展と財務会計に関する研究(中間報告)，日本会計研究学会・特別委委員会，第80回大会・特別委委員会報告，2021年9月8日

(学会報告) 先端複合研究の動向，日本会計研究学会，第80回大会・統一論題第4会場，2021年9月9日～10日

鈴木 眞奈美 教授

(学会発表(共著)(査読有)) English proficiency of foreign subsidiary managers and work performance. Paper presented at the 33rd Annual Online Conference of the Association of Japanese Business Studies (AJBS)., Japanese Business Studies (AJBS), 2021年6月

高橋 慎 教授

(論文) On the evaluation of intraday market quality in the limit-order book markets: a collaborative filtering approach, Springer, Japanese Journal of Statistics and Data Science, Vol. 4, p697-730, 2021年5月

(論文) 金融資産の価格リターンとオーダー・フロー・インバランスの相互作用についての分析，法政大学イノベーション・マネジメント研究センター，『イノベーション・マネジメント』、第19巻、p23-48，2022年3月

竹内 淑恵 教授

(書籍) 第12章 SNSのブランドページを研究する，有斐閣，田中洋・岸志津江・嶋村和恵編『現代広告全書ーデジタル時代への理論と実践』pp.224-239，2021年12月

長岡 健 教授

(論文(共著)) 越境学習、NPO、そして、サードプレイス：学習空間としてのサードプレイスに関する状況論的考察，労働政策研究・研修機構，『日本労働研究雑誌』、2021年7月号(No.732)、pp31-43，2021年6月

(書籍(単著)) みんなのアンラーニング論：組織に縛られずに働く、生きる、学ぶ，翔泳社，2021年12月

(書評(単著)) 大人の学びをとらえなおす(1)：わかりあえない人と対話すること，産労総合研究所，『企業と人材』、2021年10月号、p94，2021年10月

(書評(単著)) 大人の学びをとらえなおす(2)：実践的な学びとは何か，産労総合研究所，『企業と人材』、2021年11月号、p112，2021年11月

(書評(単著)) 大人の学びをとらえなおす(3)：緊急事態下の価値観と行動，産労総合研究所，『企業と人材』、2021年12月号、p112，2021年12月

(講演) 食道がんを通じた医療関係者との出会い：イメージとギャップ，NPO法人患医ねっと，第70回 ペイシメントボイスカフェ，2021年8月

(講演) 働く人のためのアンラーニング論：価値観の固着化を予防する学習の手がかり，MIM-IGURI, CULTIBASE, 2022年3月

新倉 貴士 教授

(学会報告) ブランドインキュベーション戦略：スタートアップブランド「X-Mobile」の事例，

日本商業学会，関東部会・7月定例研究会，2021年7月

- (論文) 流通機能とモバイルアプリ：探索的な消費者調査，日本マーケティング学会，『マーケティング・ジャーナル』，Vol.41, No.2, 46-59頁，2021年9月
- (著書(分担執筆)) スタートアップに求められる偶有性とマーケティング，日本地域社会研究所，『今日、不可能でも明日可能になる：偶有性という経営資源』，第8章所収，195-226頁，2021年9月
- (著書(分担執筆)) スタートアップのブランドマーケティング，日本地域社会研究所，『今日、不可能でも明日可能になる：偶有性という経営資源』，第9章所収，227-257頁，2021年9月

西川英彦教授

- (論文) 「ニューノーマル時代のマーケティング」(水越康介との共著)，『マーケティングジャーナル』41(1), 3-5, 2021年6月
- (論文) 「デジタル・マーケティング」，『マーケティングジャーナル』41(2), 3-6, 2021年9月
- (論文) 「モバイル・クラウドソーシング・プラットフォーム：「みんな100」による百均商品の開発」(岡田庄生との共著)，『マーケティングジャーナル』41(3), 85-94, 2022年1月
- (書籍) 「サンプリング」(分担執筆)，恩蔵直人・富田健司(編著)『1からのマーケティング分析<第2版>』碩学舎，2022年3月
- (学会発表・査読有) I didn't win! An overlooked downside of crowdsourcing? (with T. Karpukhina, M. Schreier & C. Janiszewski), European Marketing Academy 2021 Annual Conference, 2021年5月
- (学会発表・査読有) I didn't win! An overlooked downside of crowdsourcing? (with T. Karpukhina, M. Schreier & C. Janiszewski), EIASM, 28th IPDMC: Innovation and Product Development Management Conference, 2021年6月
- (学会発表・査読有) I didn't win! An overlooked downside of crowdsourcing? (with T. Karpukhina, M. Schreier & C. Janiszewski), Open and User Innovation Conference 2021, 2021年6月
- (学会発表・査読有) English proficiency of foreign subsidiary managers and work performance(with M. Suzuki & N. Ando), 33rd Annual Conference of the Association of Japanese Business Studies, 2021年6月
- (学会発表) 「オープンイノベーションとクラウドソーシング」，日本マーケティング学会，マーケティングカンファレンス，2021年10月
- (学会発表・査読有) 「ユーザー・イノベーション診断マップ：ユーザー参加型新製品開発のはじめ方」(米満良平・岡田庄生・和泉舞・今井郁弥・比留川ありさ・徳田周太との共同報告、ベストポスター賞受賞)，日本マーケティング学会，マーケティングカンファレンス，2021年10月
- (学会発表・査読有) 「制約ドリブンの顧客価値創造プロセス：コロナ禍における612件の記事の内容分析と6社の事例分析」(平井匠・大田仁美・宮越裕介・山口貴史・榎熊朋史との共同報告)，日本マーケティング学会，マーケティングカンファレンス，2021年10月
- (学会発表) 「レゴとユーザー・イノベーション：ファンとの共創からヒット商品が生まれる理由とは」(岡田庄生・蛭谷敏との共同報告)，日本マーケティング学会，第13回ユーザーイノベーション研究会，2022年3月
- (MISC) 「エムスリーの評価サービス：医療従事者の意見反映」，『日経産業新聞』，2021年6月

11日

- (MISC) 「日本コカ・コーラのコーク・オン：自販機の新たな活用生む」, 『日経産業新聞』, 2021年7月30日
- (MISC) 「ニューノーマル時代のマーケティングを考える」(水越康介との共著), 翔泳社, MarkeZine, 2021年9月17日
- (MISC) 「ビールでストーリー体験：顧客との共創、新形態」, 『日経産業新聞』, 2021年9月17日
- (MISC) 「顧客との新市場創出：相互利益が成功のカギに」, 『日経産業新聞』, 2021年10月29日
- (MISC) 「デジタル・マーケティングを俯瞰する：アプリやスマホ、検索エンジンに関する5つの最新研究」, 翔泳社, MarkeZine, 2021年11月15日
- (MISC) 「自治体と商品共創：「物語」が共感呼びヒット」, 『日経産業新聞』, 2021年12月10日

入戸野 健 教授

- (学会報告) Association rule based criteria for collection of terms in context., International Statistical Institute, The 63rd ISI World Statistics Congress 2021, 2021年7月

洞 口 治 夫 教授

- (学会報告(査読有)) “Institutional strategy for new product development: Mitsubishi Regional Jet vs Honda Jet,” Reiko Takenouchi との共同研究。The Production and Operations Management Society (POMS) 2021, Thirty-First Annual Conference, Online, April 30–May 5, 2021. 報告日時は Monday, May 03, 04:30 pm–05:30pm、日本時間 5月4日、5:30am–6:30am.
- (学会報告(査読有)) “Charismatic leader and ethical corporate governance: Exclusion, disregard, and inertia,” the Association for Japanese Business Studies (AJBS), the 33rd Annual AJBS Conference, June 24–25, 2021 Online. 報告日時は日本時間、6月25日、20:30pm–21:50pm.
- (論文(査読有)) “Charismatic leader and ethical corporate governance: Exclusion, disregard, and inertia,” the Association for Japanese Business Studies (AJBS), Proceedings of the 33rd Annual AJBS Conference, 2021, pp.1–39.
- (学会報告(査読有)) “Data point strategy of agritech businesses in Japan: A stage theory analysis of big data and information technology,” Tetsuro Goto との共同研究。The Association for Japanese Business Studies (AJBS), the 33rd Annual AJBS Conference, June 24–25, 2021, Online. 報告日時は日本時間、6月25日、9:00am–10:20am.
- (論文(査読有)) “Data point strategy of agritech businesses in Japan: A stage theory analysis of big data and information technology,” Tetsuro Goto との共同研究。The Association for Japanese Business Studies, the 33rd Annual AJBS Conference, Proceedings of the 33rd Annual AJBS Conference, 2021, pp.1–35.
- (学会報告(査読有)) “Can you exclude the charismatic leader from MNEs?: Exclusion, disregard, and inertia in ethical corporate governance,” the Academy of International Business (AIB), 2021, Online Conference. June 25 – July 1, 2021. 報告日時は日本時間 7月1日、9:00am–10:15 am (現地時間午前 0:00–1:15).
- (学会報告(査読有)) “Sociocultural responses to covid-19 and their consequences for interna-

tional business,” Academy of Management (AOM) Annual Meeting 2021, Session Type: Paper Session, Program Session: 1490, Virtual session type: Asynchronous (On Demand), “Culture and Institutions in International Management.” July 29-Aug. 4, 2021. 報告日は7月29日。

- (論文要旨(査読有)) “Sociocultural responses to covid-19 and their consequences for international business,” Academy of Management (AOM) Annual Meeting Proceedings, Vol. 2021, No. 1. Published Online: 26 Jul 2021. <https://doi.org/10.5465/AMBPP.2021.11561abstract>
- (学会報告(査読有)) “Global product development and strategic institution management of Japanese multinationals: Honda Jet vs Mitsubishi Regional Jet,” Reiko Takenouchi との共同研究。16th International Conference of the European Association for Japanese Studies (Eajs), 24-28 August 2021, 報告日時は、日本時間8月25日17:15pm-18:45pm.
- (論文(査読有)) “Forecasting foreign exchange rates as group experiment: Actuality bias and fact-convergence effect within wisdom of crowds,” Review of Behavioral Finance, Emerald Insight (ahead-of-print). Article publication date: 14 March 2022. <https://doi.org/10.1108/RBF-09-2021-0176>
- (論説) 「法人N I S Aで企業の投資促せ」『日本経済新聞』(経済教室・私見卓見)、2022年1月6日朝刊、29面。
- (論文(査読無)) “Sociocultural responses to COVID-19 and the theory of hegemonic stability,” Keizai-Shirin (Hosei University Economic Review), vol.89, no.2, March 2022, pp.41-71.
- (研究ノート(査読無)) 「組織哲学研究序説—イノベーション創出の基礎理論—」『イノベーション・マネジメント』第19巻、2022年3月、pp. 113-126.

李 瑞 雪 教授

- (論文(査読付き)) 自動車部品の荷姿最適化の規定要因に関する研究：質的比較分析 (fsQCA) によるアプローチ, オペレーションズ・マネジメント&ストラテジー学会, 『オペレーションズ・マネジメント&ストラテジー学会論文誌』 Vol.11, No.1, pp27-43, 2021年4月
- (論文(査読付き)) 自動車部品の荷姿設定におけるフロントローディングの類型とメカニズム, 日本物流学会, 『日本物流学会誌』 No.29, pp.93-100, 2021年4月

戎 谷 梓 准教授

- (論文) Narrowing the communication gap in internationally distributed teams: the case of software-development teams in Sri Lanka and Japan., Asian Business & Management, DOI: 10.1057/s41291-021-00169-9, 2021年10月
- (口頭発表) Sharing Insights from the Global Work Design Project: Cross-cultural Equivalence and Differences., Academy of Management, 2021年8月

